

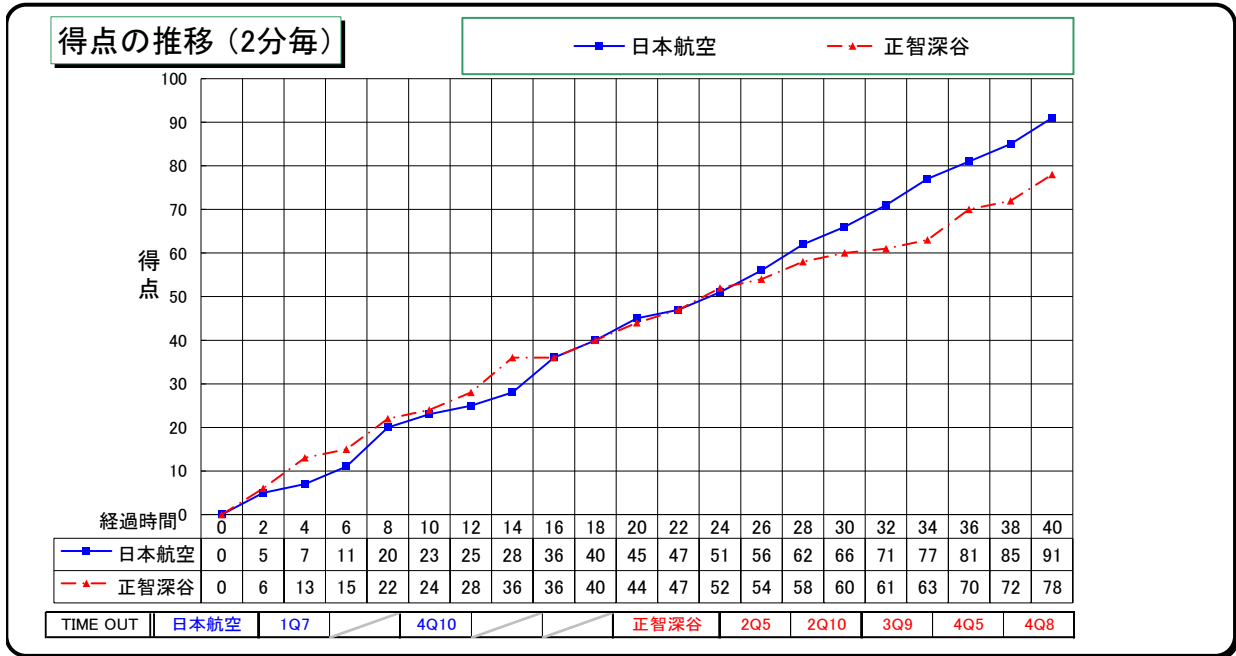
令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会 ＜Aブロック決勝＞

令和5年6月4日(日)	アダストリアみとアリーナ	大会2日目	Aコート	第4試合 14:30～
<チームA> <b style="font-size: 1.2em;">日本航空 山梨	<b style="font-size: 2em;">91	{ 23 1Q 24 22 2Q 20 21 3Q 16 25 4Q 18 }	<b style="font-size: 2em;">78	<チームB> <b style="font-size: 1.2em;">正智深谷 埼玉
主審: 平出 剛 (栃木) 第1副審: 大野 太裕 (茨城) 第2副審: 佐田 幸一 (山梨)				

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
	0	西田 壮良											
○	1	藤野 仁喜	6			3	7		1	1		1	2
◎	7	青木 王哉	2	1	1	2				1	2	1	
◎	9	福岡 恭輔	4	1	2	9				2	2	1	
○	10	山崎 柁威		1									
◎	23	オルワベルミ・ジェラマイア	40			18	23	4	6	2	5	29	1
◎	30	大道 一步	27	4	8	7	9	1	2	2	1	5	1
	33	大矢 颯太											
	34	久保田 楓羽											
◎	58	中西 哲太	12	4	14		1			2		2	
	66	酒井 基充											
	70	林 天創											
	77	高橋 蓮夢											
	87	須崎 優斗											
	99	三村 デール アンソニー											
		コーチ 山本 裕											
合計			91	8	25	31	51	5	9	10	10	39	4

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	三村 蓮	20	4	7	4	12			2	2	3	
	5	花形 大雅											
	6	宿輪 章太											
◎	7	市川 大徳	21	5	16	3	8			3		7	
◎	8	秋穂 将斗	4		6	2	6			2	2	7	
◎	9	グビノグン オサセ テロク	19		1	7	12	5	6		8	5	
	10	飯島 康介											
	11	山田 仁弘											
	12	河野 奏真											
	13	板崎 煌河											
	14	佐々木 寧											
◎	15	中武 優羽	4			2	6			2	3	2	
	16	早船 哉斗											
○	17	加藤 駿	4		6	2	4					1	
○	18	岡野 一輝	6			3	6				1	3	
		コーチ 成田 靖											
合計			78	9	36	23	54	5	6	9	16	28	

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦評	記入者: 鈴木 岳史
-----------	------------

令和5年度関東高校男子バスケットボール大会Aブロック決勝戦。日本航空高校(以下、日本航空)vs正智深谷高校(以下、正智深谷)

第1Q、日本航空はハーフコート1-3-1ゾーン、正智深谷はハーフコートマッチアップゾーンで守る。正智深谷は#9グビノグンが2連続でオフェンスリバウンドからゴール下シュートを決め、先手を取る。日本航空は#30大道がスピードを活かして正智深谷ディフェンスを突破して中盤までのすべての得点を生み出し、対抗。しかし、正智深谷も圧倒的な高さのある日本航空#23オルワベルミには徹底して複数人で守りつつ、オフェンスでは#7市川#4三村の3Pや#15中武のゴール下などで得点。23-24と正智深谷がわずかに1点をリードして第1Q終了。

第2Q、日本航空は#23オルワベルミのオフェンスリバウンドを直接叩き込むブットバックダンクが炸裂すると、徐々にその圧倒的な高さが目立ち始める。波に乗せたくない正智深谷も集中したディフェンスから、#9グビノグンの連続得点と#7市川が2本の3Pを射抜き、応戦。しかし、日本航空は#58中西の3Pや#30大道のゲームメイクでアウトサイドからも効果的に攻めつつ正智深谷ディフェンスにギャップを作り出し、そこに#23オルワベルミが突入してダンクで得点。#23オルワベルミはディフェンスでもブロック、リバウンドと、攻守に絶対的な存在感を發揮。残り3分を切ったところで正智深谷を捉える。それでも正智深谷も#9グビノグンのジャンパーやフリースローで踏み止まり、45-44と日本航空1点リードで前半を終了。

第3Q、日本航空は#23オルワベルミがインサイドを支配し始める。4連続で得点すれば、ディフェンスでもブロックでリムプロテクト。対する正智深谷は#7市川のアウトサイドシュートと#18岡野の連続得点などでビハインドを広げない。それでも日本航空は#23オルワベルミにディフェンスが集中した隙に#30大道の3Pとドライブイン、#23オルワベルミのアシストから#1藤野が得点。66-60と日本航空6点リードで勝負の第4Qへ。

第4Q、日本航空は#23オルワベルミのアリウープと#5中西の3Pで5点を奪取し、リードを2桁に。離されたくない正智深谷も果敢に攻めるが、しっかりと脚の動く日本航空のプレッシャーディフェンスと#23オルワベルミのリムプロテクトに苦しみ、追いつけられない。中盤のタイムアウト後に1-2-1ゾーンプレスを展開した正智深谷だが、#30大道#1藤野を中心とした日本航空ガード陣はこれを突破。#30大道のアシストから再び#23オルワベルミのアリウープが炸裂すると、逆転のために正智深谷が狙っていたイステールからのカウンターを連発、残り2分半から10点を積み上げ、点差を広げる。#4三村の2本の3Pで追いつく正智深谷の粘りも及ばず、91-78で日本航空が勝利。

チームディフェンスと爆発力のあるオフェンスで勝ち上がった正智深谷に対し、絶対的な高さを誇る#23オルワベルミと、圧巻のゲームメイクと得点力を誇る#30大道の2年生コンビを中心に大会に旋風を巻き起こした日本航空が見事に関東Aブロック王者に輝いた。